

第10節 8日目:2月23日(木):中村～宿毛 雨／曇り

2023年2月23日(木)雨／曇り、西南四国の旅の8日目は、土佐くろしお鉄道の中村駅から宿毛駅までの営業キロ23.6kmに挑戦する。ホテルでゆっくり朝食をとり、昨日不要になった衣類を宅急便で送り、リュックの中をできるだけ身軽な格好で臨む。本日も雨の中ではあったが、2月19日(日)の土佐昭和から窪川に移動するような厳しい環境ではなかった。それは、本日の営業キロは短いし、高架した線路、かつ少し軽めのリュックであったからだ。ここでも九ヶ条からなる”こだわり鉄道つたい歩き”の第5条(先憂後楽の考え方)が生かされる歩き方となった。

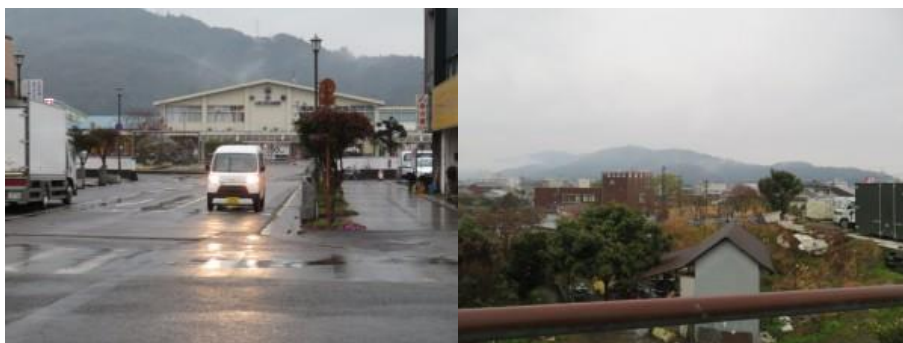


※お世話になりました！！ホテルクラウンヒルズ中村

ホテルを7時40分に出る。56号線の交差点でお遍路姿の大阪在住の山荘さんと知り合う。この方は本日8時20分のバスで昨日私が参拝した第38札所の金剛福寺を立ち寄ったのち、宿毛(すくも)方面に向かうとのことであった。私は「中村駅経由で宿毛駅を目指して歩きます」と言って、チラシを手渡しコンビニ前で別れる。「ご縁があれば再会するだろう」と確信して。本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

中村(7:45)～具同(ぐどう、8:47)～国見(9:51)～有岡(11:56)～工業団地(13:06)～平田(13:32)～東宿毛(16:14)～宿毛(16:46)

①8時、万歩計で109歩ある長池橋を渡る。四万十市の街並みが雨空の中見える。8時8分、870歩ある渡川大橋を渡る。8時21分、宇和島87km、宿毛22kmと記した標識前を通過。8時31分、右手に列車が通過して行く。線路下を潜るか否かで右往左往するが、国道56号線を歩き、宿毛線下を潜り鉄道の右側となる。100m位歩いた先に具同駅(8時47分)があった。この界限も沢山の民家があった。



※中村駅、長池橋からの四万十市、渡川大橋



※具同駅への路



※具同駅

②8時55分、松山178km、宇和島85kmとある標識前を通過。9時18分、トンネルが見える宿毛線下を潜り、鉄道の左側となる。右手に山間が続く。9時39分、四万十市楠島を通過。39も階段がある国見駅には9時51分到着。



※国見駅への路



※国見駅

③10時6分、58歩ある国見橋を渡る。10時11分、宇和島81km、宿毛17kmと記した道路標識前を通過。10時35分、宿毛線下を潜り、鉄道の右側となる。10時47分、四万十市生ノ川で、左手に見える山々は雲の路のような風景で覆われていた。10時51分、雨上がる。10時58分、左手に中村方面に向かう列車を捉える。11時4分、64歩ある磯ノ川を渡る。11時30分、国道56号線に有岡駅への看板を目にする。この境界の道路標識は「松山169km、宇和島76km」であった。道路から5m位段差のある有岡駅には11時36分到着する。



※有岡駅への路



※有岡駅への路



※有岡

④有岡駅から工業団地駅への道筋が、本日のコースで最も難所であった。11時45分、四万十市立中筋小学校前を通過。11時46分、誤って宿毛線下を潜る。しかし、左手に見える道路は高速道路であり、歩けないと判断し国道56号線に合流することとする。中筋川土手を歩き、11時57分宿毛線下を潜り、鉄道の右側を歩く。大回りした道筋を歩き、やっと12時7分国道56号線に合流する。中筋川を渡る有岡橋側道橋があった。12時11分、四万十市有岡から宿毛市山田となる。





※誤って二つの渡ろうとするが思い留まる、線路下を潜りカバリー

12時14分、85歩ある山名橋を渡る。12時16分、宇和島75km、愛南31kmと記した道路標識前を通過。12時31分、その先の交差点を左折。12時39分、139歩ある新沢田橋(中筋川)を渡る。12時47分、高速道路下を潜り、道なりに歩いた先に石材加工する伝承紀(12時54分)があった。くねくねした路を歩き、やっと工業団地には13時6分到着する。それにしても難しい道筋であった。



※中筋川の土手沿いを歩き、国道56号線に合流する



※国道56号線から工業団地方面に向かう交差点



※工業団地駅

⑤ここから平田駅への道筋も苦労すると思ったが、意外にスムーズに運ぶ。川を越え、国道 56 号線に合流することなく、鉄道の左側に沿って歩いた先に平田駅(13 時 32 分)があった。この駅には第 39 札所の延光寺の案内板があった。お遍路さんのためにエレベータやトイレ施設も整備されていた。また、駅前にはバス停があった。丁度この駅を立ち去ろうとしたとき、高知西南交通のバス(中村～宿毛)がやって来る。今朝お会いした山荘さんが手を振ってくれたそうであるが気がつかず。このことは、明日宿毛駅バス停で判明するが。



※平田駅への路



※平田駅

⑥13時48分、宇和島72km、愛南28kmと記した標識前を通過。13時53分、左手に宿毛行き列車が通過して行く。途中、寄り道して、39番札所の延光寺に立ち寄りすることとする。案内によると国道56号線から1km先にあるとのことであった。14時22分、延光寺を参拝する。今回の旅で、岩本寺、金剛福寺に引き続き三寺となった。この寺の参拝により、四国一筆書きに加え、“こだわり鉄道つたい歩き”方式の延長線で四国八十八カ所巡りをクリアし、“日本横断歩き鉄の旅”PDF読本シリーズの範疇に入れてまとめたいと更なる夢が膨らむ。旅は魅力であると同時に未広がり、時間と費用との闘いもあり実に怖いと痛感。14時40分、国道56号線に合流する。



※延光寺駅への路



※延光寺



※四国のみち

⑦14時58分、押川神社前を通過。15時6分、宿毛幼稚園・聖ヶ丘病院前を通過。15時20分、宿毛市和田を通過。只今の気温は11℃であった。16時より、937歩ある新宿毛大橋を渡る。16時2分、左手にはトンネルから顔を出したレールが見えてくる。16時7分、大井田病院があった。16時14分、東宿毛駅に到着する。この駅は別名”早稲田・梓駅”であった。街並みを淡々と歩いた先に宿毛駅(16時46分)があった。これで土佐くろしお鉄道(中村線・宿毛線)の踏破が完了する。



※東宿毛駅への路



※東宿毛駅への路



※東宿毛駅



※宿毛駅への路



※宿毛駅

⑧大回りしてホテルマツヤには 17 時 17 分到着。ホテルレストラン”ららぽーと”で夕食を取り、本日の疲れを癒す。予土線・中村線・宿毛線ともに全駅舎立ち寄りに成功し、達成感に浸り就寝する。



※ホテルマツヤ、レストラン”ららぽーと”で寛ぐ